

7月早取りねぎ等の、栽培管理について説明を行う
特産の白神ねぎの収穫を前に、ねぎ部会が研修会を開催



▲天候に対応した栽培管理を呼びかける山谷部会長

J Aねぎ部会（山谷初男部会長）は6月28日、これまでの夏ねぎ生育状況を確認し、今後の栽培管理などを検討し合う、夏ねぎ栽培研修会を能代西高校で開催しました。

研修会には、生産者やJ A関係者、西高校生徒など約50名が参加。はじめに山谷部会長が「天候不順で生育に影響が出ており、今後は昨年同様に、高温多照になる可能性があるため、病害虫防除に努めてほしい。」と挨拶しました。そのあと担当者から、生育状況や管理方法について説明が行われ、収穫期を前に生産者と生徒たちと理解を深めました。



第26回秋田県J A農業機械大展示会が、あきたスカイドームで6月12日と13日の2日間開催され、合計5千人の来場者が訪れ大盛況となりました。

屋内会場では、最新トラクターやコンバインのほか、メーカー自慢の大小様々な農業機械が並びました。また屋外会場では、大型農業機械の試乗運転や様々なイベントが行われ、農家のみならず一般の方々も楽しめる展示会となりました。

J Aでは7月31日まで、農業機械購入資金の特別金利キャンペーンを実施しています。J Aから購入予定の方は、ぜひご利用ください。

多種様々な農業機械が、あきたスカイドームへ集結
今後の農作業に向けて、J Aが農業機械展示会を開催



▲最新農業機械を見定める来場者



さらなる品質向上と栽培面積拡大を目指す
収穫期を前に、りんどう現地巡回を開催



▲各圃場の生育状況を確認する参加者

生育状況と市場動向等の確認を行うため、りんどう生産組合（菊地昇一組合長）は6月22日に、りんどう現地巡回を実施しました。

生産者やJ A、行政および市場関係者が参加し、生産者の圃場6ヶ所を巡回して、今後の管理指導を行いました。その後行われた研修会では、担当者が「天候の回復で出荷時期は例年通り。ただ今年は乾湿が極端なため、根の弱いものは立枯病の防除が必要。」と呼びかけ、生産者は白神りんどうのブランド強化に向けて、高品質りんどうの出荷を誓い合いました。

